

2015/02/18 H

「外環の2」変更迫る

大島都議 「住民の思いに応えよ」

東京都議会都市整備委員会が16日、日本共産党の大島よしえ都議は、5月に都市計画審議会に付議される予定の、杉並区の住民から提出されている「外環

道の地上部街路（外環の2）の一部区域を廃止する」都市計画提案について質問しました。

道を強いられる杉並区の住民が善福寺2丁目（295号）について計画廃止を都に求めたもの。大島氏は、提案者が廃止を求める理由とし

質問する大島よしえ都議 16日、東京都議会



て、計画が強行されれば、地元町会の東側半分が立ち退きになり、

桜並木が消滅、商店街も分断されることなどをあげていることを指摘し、これらの問題点について具体的に検討したかたがたしました。

都市整備局の山下幸俊外郭環状道路担当部長は「地域への影響は影響データを作成し、杉並区の話し合いの会に提出した」と述べ、提案者が指摘した点に

ついて検討したとは答えませんでした。

大島氏は、都が提案を拒否して外環の2の当該区間を残す理由として防災や広域ネットワークとしての役割をあげていることに反論。▽対象地区がすでに3本の延焼遮断帯となる道路に囲まれた火災に強い地域であること▽外環の2の練馬区

北側部分について地上部に代替のネットワークを確保していないにもかかわらず都が廃止しており、広域ネットワークを理由に廃止できないという理屈は成り立たないこと―を指摘し「地域住民の思いにこたえ、都市計画道路の提案を踏まえた都市計画を変更するよう求めました。」